

整形外科 科長 様  
JSSR 会員各位

前略、

日頃より学会活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、平成29年5月30日に施行された「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の一部改正により、本学会が中心となって現在行っている「側方進入椎体間固定術の合併症調査」でも、トレーサビリティの書類を貴施設と本学会間で交換しなければならなくなりました。

今回、以下の書類を同封しておりますので、ご確認下さい。

貴施設宛宛「側方進入椎体間固定術の合併症調査に関する協力のお願い」の写し  
JSSR 会員宛「側方進入椎体間固定術の合併症調査に関する協力のお願い」  
書式1「他の研究機関への既存試料・情報の提供に関する届出書」  
書式2「他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録」  
書式3「提供を受けた既存試料・情報に関する確認のお願い」

貴施設宛宛に本学会から「側方進入椎体間固定術の合併症調査に関する協力のお願い」を郵送致しましたので、内容をご確認下さい。

書式1と2は、回答欄をご確認の上、必要があれば修正・加筆して下さい。そして**書式1は担当の先生名で貴施設長へ、書式2は貴施設長名で本学会へ提出（アップロード）して下さい。**

書式3は2022年1月31日までに回答欄の該当するところにチェックを入れてから、「提供を受けた既存試料・情報に関する回答書」に貴施設長名などを記入の上、本学会に提出して下さい。**書式2と合わせて合併症登録の際にアップロードしていただくことも可能です。**

なお、当該手術を行っていない場合は、1の設問（貴施設では2020年1月～2020年12月末の間にXLIF・DLIF, OLIFなどの側方進入椎体間固定術を施行されていますか？）に「いいえ」とご回答いただけますと幸いです。

どうぞよろしくお願いたします。

草々

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会  
新技術評価検証委員会